



場 所 役 者 田 順 一
 行 町 任 深
 岡 垣 賞 貴
 岡 垣 町 長



議会だより

第二回定例会は六月二十日招集され会期は十六日と決定、次の議案が可決された。

四月一日市制を施行した四市を規約上明記すると共に組合事務所位置の住居標示の変更による規約の一部改正

議案第四十二号
 昭和四十七年度庚辰離職者緊急就労対策事業原ノ波津線改良舗装工事請負契約について

議案四十六号
 岡垣町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例(案)

1、契約の目的 原ノ波津線改良舗装工事

議案第四十七号
 岡垣町道路線の一部廃止について

2、契約の方法 指導競争入札による契約

路線番号 八一号
 町道路線敷地として必要のない部分を廃止するため

3、契約金額 一七、三三五千円

路線名 海老津ノ戸切線
 廃止部分 鉄道用地戸切白谷一地目地番 〇六七ノ二

4、契約の相手 岡垣町海老津小西建設KK

廃止面積 六七二五、六九平方
 米(一、〇三四、五二坪)

5、工 期 自S 47年4月5日 至S 48年3月31日

議案第五十号
 昭和四十七年度岡垣町一般会計補正予算(案) 第一号

議案第四十三号
 固定資産評価審査委員の選任の同意について

議案第五十一号
 岡垣町国民健康保険条例の一部を改正する条例(案)

岡垣町野間 高山 丑 松(農業) 六十四才

議案第五十二号
 地方税法施行令の改正により分担金徴収について

議案第四十四号
 福岡県旧町村職員恩給組合資産の管理組合規約の一部変更について

議案第五十三号
 昭和四十七年度岡垣町農業共済事業特別会計補正予算(案) 第一号

組合事務所位置の住居標示の変更、市編入、市制施行に伴い組合規約の一部改正

議案第五十四号
 農作物共済(水種) 無事もどし

議案第四十五号
 福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合契約の一部変更について

議案第五十五号
 無事もどし金三〇二、五四八円

議案第四十八号
 岡垣町保育所入所児童の費用徴収条例の一部改正について

議案第五十六号
 農作物共済(水種) 無事もどし

議案第五十七号
 無事もどし金三〇二、五四八円

議案第五十八号
 無事もどし金三〇二、五四八円

とどいたら、まず、とじましよう

〇

岡垣町六割一八一、五二九円
福岡県農業共済組合連合会

四割二二一、〇一九円
無事もどし対象者 三三七名

議案第五十七号(保留)

岡垣町道路線の一部変更につ
て

公園用地造成ほか一部交換地と
して利用するため

議案第五十八号

遠賀郡に県立普通科高校を新設
することに関する意見書提出につ
いて

地方自治法第九九条第二項の規
定により関係行政庁に対し遠賀
郡に県立普通科高校を新設する
ことを要望して意見書を提出す
るものとする。

提出議員 川原清彦
宗岡輝雄
刀根又次
太田 晃
野田 武

議案第五十九号

岡垣町道路線の認定について

路線番号 一三二

路線名 大松線

起点 大字原字大松六九六

終点 〃 六七〇ノ一

延長 一一七米

中員 四、七米

面積 五四四、九平方メートル

議案第六十号

昭和四十七年度岡垣町一般会計

補正予算(案)第二号

債務負担行為の補正

同和地区農家負債整理資金の債
務保証を行う

議案第六十一号

岡垣町農業委員会の選挙による
委員の定数に関する条例の一部改
正について

選挙による委員の定数を「一〇
人」とあるを「十一人」改め
る

モーター建設反対について

自動車が部屋の入口にピタッと
着くと扉が開いてそのまゝ中に入
れるしかけになっている、車から
ホテル(宿泊所)に直結している
のがモーターです。

内浦小学校の前方で新松原の子
供たちの通学路(町道)にモータ
ルが建てられようとしています。

学校では校外指導、植物や昆虫採
集観察の学習、体育マラソンなど
の野外学習の場としてこの土地が
用いられて居ります。教室からま
る見えの土地です。もしこの建物

が建設されますと通学路が車の危
険にさらされるばかりでなく学習
活動、情操教育、精神衛生、環境

整備の上からも多くの問題がある
ようです。青少年子女の風紀風俗
の上からも好ましくない点があり
ます。地元の内浦、津波、手野は

勿論PTA、婦人会青年団、町議
会等の建設反対が盛り上り、教育
委員会は県警本部折尾署、県の建

築課、衛生部、教育庁など各方面

推せん第一号

農業委員の推せんについて

農業委員会等に関する法律第十

二条第一項第二号の規定による
議会推せん農業委員は二人と
し次の者を推せんする

太田 晃
花田 満

岡垣町議事事務局

家族計画

相談の案内

赤ちゃんを生まない工夫ではあ
りません。それぞれの家庭の事情
にあわせて合理的な計画をたて受
胎調節を行い、よろこばれる子供
を出産するのが家族計画です。
気軽にご利用下さい。

一、日時 毎月一回実施予定

八月十八日 十三時三十分―

九月十八日 十三時三十分―

十月十八日 十三時三十分―

十五時三十分迄

一、場所 岡垣町中央公民館

一、相談員 助産婦 保健婦

花火事故を なくしましょう

夏の夜の風物詩―花火は子供の
愛を育てる楽しいものですが、そ
の取扱いを誤ると、けがをしたり
火災事故をおこしたりします。

事故防止のため、つきのことにと
分注意しましょう。

○保護者の指導

(1)花火の説明書をよく読んで、
とともに正しい取り扱いかた
を教える。

(2)風むきに注意し、風の強い日

は花火遊びはさけるようにす
る。

(3)家がたてこんでいるところ
や、もえやすい品物の近くで
は花火遊びはさせない。

(4)燃えている花火を、人に投げ
ついたりするいたずらは、絶
対にさせない。

(5)火災予防のため、水を入れた
バケツなどを準備しておき、
終わったら水をかけるように
する。

(6)花火を分解加工して遊んだり
あきびんや、あき缶に入れて
火をつけるようなことは絶対
にさせない。

○花火販売業者の心得

(1)とともに花火を売るときは、
正しい遊び方を教える。

(2)小さいことには、一度に多
くの花火を売らない。

○昭和46年度中北九州地区でおこ
った事故例

(1)門司地区 46年3月24日
(四司区大里谷山の山林)
稚木林で小学生(5年生) 2
人が、爆竹遊びをしているう
ち枯草に燃えうつり、山林10
ヘクタールを焼失した。

(2)折尾地区 46年6月20日
(町内東海老津小西建設理立
地)
空地で子供(小学6年以下)
4人が、ロケット花火遊びを
しているうちロケット打撃方
法が悪かったため、2m離れ

た位置にいた7才の女の子の頬にあたり、治療15日間のきずをおわせた。

※どちらも遊び方の不注意が原因であります。

福岡県からの

お知らせ

火災のため庁舎の一部を焼失しました北九州土木事務所は、昭和四十七年六月十六日から、つぎの所の仮庁舎に移転し、業務を行なっておりますので、お知らせします。

◎仮庁舎所在地

北九州市八幡区折尾自由ヶ丘
九州共立大学八幡西高等学校内
(〒807)

電話 六九一一二七六一〜七

なお、この火災のために、七月中旬に予定してました県営住宅の空屋入居申込書を焼失しましたので、入居申込書を提出していた方は、次の要領によりお早めに再手続きをしてください。

- 一、再手続きの対象となる人
昨年七月一日以降、北九州土木事務所空屋住宅入居申込みをしてきた人
- 二、再手続き期限
昭和四十七年八月三十一日
- 三、抽せん日
九月二十日(実施)

岡垣町中央 公民館に寄附

岡垣町婦人会から

講堂の引幕

調理室の食器什器

ピアノ

花壇の丸ツゲ及びビツツジ

内田利夫氏より

卓球台一台

石田輝雄氏より

「日本の将来」図書八冊

4Hクラブより

花壇の花

ありがとうございます。

体がつくり

(14)

夏に鍛える

寒ければ火をたいて暖をとる。暑いと奈良時代からウチワで、江戸時代には夏氷、明治時代から扇風機、戦後はクーラーで涼をとっている。

最近ではアパートや官公庁など冷房をする所が多くなっている。

それにつけても「冷房病」という言葉をきくのでその生理学を。

冷房病の原因は二つある。

一つは、冷房で快適に調節された部屋の中ばかりいると、体内のホルモンの調和をつかさどっている

副腎皮質が、怠けて働かなくなり、急に暑いところに出たとき、すぐ対応できずに体が弱る。

二つは、冷し過ぎのため、それに対応して副腎皮質が働きすぎて疲労し、やはり副腎皮質ホルモンの出方が悪くなっている場合。

副腎は中の方のズイ質と皮質に分かれており、副腎皮質というのが五十種類ものホルモンを出しており、暑いとか寒いとかの刺激に対して働く防衛ホルモンも出している。

だから副腎皮質の働きが弱ると、暑さ寒さに弱くなり、カゼをひきやすくなる。

ずっと冷房された部屋で仕事をしなければならぬ人は、昼休みはつとめて外気にふれ、温度差に耐える訓練をした方がよい。

汗の生理

夏ならば、普通でも一日に三〜五立、つまり二升ぐらいの汗がでる。はげしい運動をすると十立〜五、六升の汗がでるといわれている。又この汗を出す汗線は、全身に二三〇万ぐらいある。

人間は、まわりの温度いかにかわからず、体温を一定の高さに維持することができる。これは常に安定した生活を営むために大変重要なことである。

体温が高いと、それだけ体内の化学反応は促進され、生活機能に活発になる。ところが、体内の化学

卓球大会

七月九日岡中で公民館対抗卓球大会を実施、男子12、女子2チーム

△の参加で熱戦を展開。

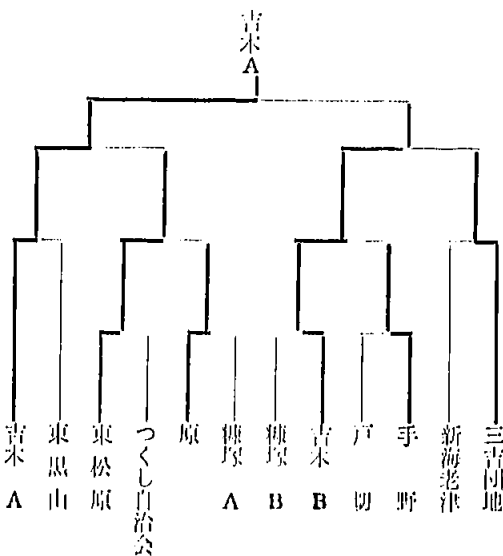
反応は酵素によって営まれる面が多いが、酵素は温度に敏感で、体温が高すぎても、低すぎても酵素活動が不可能になる。それで人間はいろんな機能で、一定の体温に維持している。

体温が上がると、大脳の体温中枢が働き、発汗中枢に「発汗して体温を下げる」と指令を出す。発汗中枢が働いたすと自律神経が刺激

され、汗線が開いて体内の水分が放出される。だから、汗は体温を調節する大切な道具で、暑いときは汗をかくてこそ健康が保たれる。

夏の暑い時だけでなく、一日に一度は力一杯汗を流すことは、非常に有効な健康法である。

公民館



- 団体戦男子
- 一位 吉木A
 - 二位 吉木B
 - 三位 つくし自治会
 - 三位 三吉岡地
- 男子二十五才以下
- 一位 福山満章
 - 二位 伊藤巧治
 - 三位 佐々木栄治
 - 三位 村田勝吉



男子二十五才以上

一位 三島利英
二位 広渡正彦
三位 小野 覚
三位 荒木 久

団体戦女子

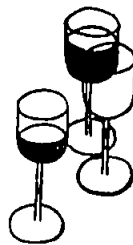
一位 吉木
二位 山田

女子個人戦

一位 阿部 玲子
二位 下口 京子
三位 川島つゆ子

卓球ピンポンといえは、知らぬ人はあるまいが、ニワトリのタマゴの子分みたいな白球を、シャマゴの親方のような奴で、いわゆる卓球台と呼ばれるものの上で打合うスポーツだ。

ピンポン外交とやらで、米中接近の火役を果たした話も余りにも有名だ。たかが(失礼)小球の打ち合いでないか、たいした事はあ



るまいと思いの方も多いと思うし、かく申す私も数年前までは同様であった。体育協会長ともある者がと、お叱りを受けそうだが事実だから仕方がない。然し実際に競技を見て思わずウーンときたから不思議。第一に、大変な全身運動である事。行動範囲こそ狭いようだが、その間をコマネズミの様に、また五条の橋の上の牛若丸の如くヒラヒラりと絶えず動かねばならない。牛歩のようでは始まらないまことに脱兎の如くである。

卓球放談

吉木 伊藤 藤 良 成

昭和四十七年度の各区対抗卓球大会は、七月九日岡中体育館で開催された。

次に極度に精神の集中を要する。前途のような小球が凄じスピードで来る奴を打返さねばならない。然も、どこでもなら話は別だが相手の台の上だ。ヨソ見どころか彼氏彼女とのデイトの事など考える余地は全くない。要するに小白球に全身全霊を打込まねばならぬ。

さてこの様に書くと「とてもオレなんかアタシなんて親しめるシロモノではない。」と縮らめる方があるかも知れないが、案に相違して誰にでも気軽になじめるスポーツだから不思議と言えは不思議。先般の大会個人戦で五十六才のお年寄じやない先輩が出場され、立派に活躍されている。

幸いに岡丘中央公民館に卓球台が置かれ、皆様のおいでを待っている。健康増進、体力づくりに、又ストレス解消の為にも一人でも多くの方の御参加を切望する次第である。

獅子祈禱

山田の石田久光氏にきく。



氏はもう七五才だが、山田で生れ、山田で大きくなられたので、小さい頃のことをよく覚えておられた。

一年中の病氣や災難・悪魔を追っ払うため、毎年七月十五日、山田で獅子祈禱が行なわれていた。

昔農村での祭は、稲などのよりよき生産を願い、生産過程のリズムに依りて行なわれ、四月は予祝まつりとして春まつり、除疫祭としての夏まつり、九月、十一月は収穫祭として秋まつりが行なわれていた。七月十五日は田植えはすみ、ホッと一息ついた時期である。

区長が祭主になり、山田の氏森神社で、神霊降臨などの神事を行ない、神幸の行列が山田の家々をまわる。

昔、赤の鼻高天狗の面(実は猿田彦)を竹の先につけ、それを持った二人が神のミサキバイとして先頭に歩き、次に五、六十糎もある木の桑四本に、沢山の鈴をつけたものを持った人が続き、神主さん、区長さん、御幣をもった人等が、山田の家を一軒一軒訪問し、家の門戸口で祈禱してまわる。

その家の人は家族全員出て来てお礼をいう。

すると神幸の行列の中に、獅子舞いの時使う獅子の頭を、雌雄別々に持った二人の人がおり、「おんかく」と叫び、獅子の口を大きくあけ、ガチャンと口を閉じる。

又次の家に行き祈禱をする。



長 畑

今の高陽や東松原も大字は山田になつておるように、昔の山田村は非常に広く、菅原に三、四軒、今の有山病院の所にも二三軒あった。明治四四年の調べによると、山田の戸数は五二軒だから、一軒一軒全部まわると相当重労働だっただろう。

石田氏が青年になる頃はやんでいた。又その獅子の頭などは、氏森神社の神殿に飾っていたが、戦時中こゝに兵隊が寝泊りしていたのでなくなつてしまった。と

× × ×

「おん」はインドで古来祈禱文に先立って発音され、心の中でいのあるときの聖音で、「アウウウウウ」の三音を含むので、天・地・人とか、男、女、中性原理、過去、現在、未来などに配當され、全宇宙を象徴するといふ。

密教ではこの一語を念誦すれば無上の功德が得られるといふ。

「かく」は「覚」で、教えによりはじめて無明のまどいを捨てて悟りを開くこと。